



欧州連合(EU)次期主要役職合意

欧州連合(EU)の要職人事が EU 首脳会議で決着

欧州連合(EU)首脳会議は2日、ドイツのフォンデアライエン国防相(60)をウンケル欧州委員長の後任候補に指名した。ドラギ欧州中央銀行(ECB)総裁の後任候補には、国際通貨基金(IMF)のラガルド専務理事(63)＝フランス出身＝を指名。2人は女性。欧州議会が承認すれば、フォンデアライエン氏は初の女性トップとなる。トウスク氏の後任となるEU大統領にベルギーのミシェル首相(43)を選出。EU外相に当たる外交安全保障上級代表候補にはスペインのボレル外相(72)を指名した。2人は男性で、重要4ポストを男女で分ける。しかしながら、これから欧州議会での信任投票があり、欧州議会選挙の結果をもって欧州委員長人事を行うというルールを無視した結果から、議会の反発も予想され一枚岩ということではなさそうだ。

2019/07/03

金融商品取引業者：ブライツ・アセット株式会社
登録番号：関東財務局長（金商）第3102号
加入協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
HP：www.brightasset.co.jp

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的としてブライツ・アセット株式会社が作成した資料です。投資勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更されることがあります。投資に関する決定は、お客様ご自身で判断なさるようお願いいたします。

欧州連合(EU)次期主要役職合意

欧州連合(EU)の要職人事が EU 首脳会議で決着

欧州連合(EU)の要職

要職名	現職/次期候補	出身国	前職	所属政党
ECB 総裁	マリオ・ドラギ	イタリア	元イタリア中銀総裁	無所属
	クリスティーヌ・ラガルド	フランス	IMF 専務理事	LR : 中道右派 EPP グループ
欧州委員長	ジャン＝クロード・ユンケル	ルクセンブルグ	ルクセンブルグ首相	EPP グループ
	ウルズラ・フォン・デア・ライエン	ドイツ	ドイツ国防相	CDU : EPP グループ
欧州理事会議長 (EU 大統領)	ドナルド・トゥスク	ポーランド	ポーランド首相	EPP グループ
	シャルル・ミシェル	ベルギー	ベルギー首相	ALDE グループ
欧州連合(EU)外交 安全保障上級代表	フェデリカ・モゲリーニ	イタリア	イタリア外相	民主党 : S&D グループ
	ジョセップ・ボレル	スペイン	スペイン外相	社会党(S&D)グループ
欧州議会議長と 候補者	アントニオ・タイヤーニ(現職)	イタリア	欧州議会議員	EPP グループ
	セルゲイ・スタニシェフ	ブルガリア	欧州議会 S&D 幹部	S&D グループ
	マンフレート・ウェーバー	ドイツ	欧州議会選挙 EPP 代表	EPP グループ

赤字は女性

ECB 総裁

クリスティーヌ・ラガルド Christine Lagarde フランス、パリ出身 女性

所属政党 : 共和党(LR: Les Républicains)、EPP グループ

大学卒業後、米法律事務所の「ペーカー & マッケンジー」で弁護士、2005 年からビルパン内閣(シラク大統領時代)で農業・漁業相、2007 年 6 月からフィヨン内閣の経済・財政・産業相、2011 年より、フランス出身で専務理事を務めていたストラス＝カーン専務理事の女性問題で逮捕起訴され辞任したことから、後任として IMF 専務理事就任。欧州債務危機が発生したとき、仏財務相でその後 IMF 専務理事に就任、ECB とともにトロイカ体制(ECB、IMF、EU)で欧州周縁国の債務問題鎮静化に尽力した。

欧州委員長

ウルズラ・フォン・デア・ライエン Ursula Gertrud von der Leyen ベルギー出身 女性 60 歳

所属政党 : ドイツキリスト教民主同盟(CDU)副代表、EPP グループ

ニーダーザクセン州首相を父に持つ、大学で経済学を学んだあと、医学に転進し医師免許所得。2001 年ゼーデ市議会議員から地方議員、2003 年にはニーダーザクセン州議会議員として州の社会・婦人・家族・健康相。2005 年より国政に転じ、メルケル内閣で家族・高齢者・婦人・青少年相、2009 年連邦議会選挙で初当選、家族相、労働・社会相、その後国防相。ドイツ国内では、ポスト・メルケルとして評判が高かった。ドイツ語、英語、フランス語に堪能。7 人の子持ち。

欧州副委員長には、社会党系の以下の2名を指名しようとしているとの報道があった。

(フランクフルト・アルゲマイナー2019/7/3より)

フランス・ティーマン Frans Timmermans 58歳 オランダ出身 男性

所属政党：オランダ労働党代表

1987年から、オランダ公務員、1998年国会議員に当選（～2007年）。2010年に再当選（～2012年）。

2007年よりオランダ外務次官。2012年よりオランダ外務大臣、2014年より欧州委員会筆頭副委員長（任期はユンケル委員長と同じ本年10月31日まで）。2019年5月の欧州議会選挙では、社会党系（S&D）グループの代表。

マーガレス・ヴェスタガー Margrethe Vestager デンマーク出身 女性 51歳

所属政党：デンマーク社会自由党 2007年より党代表

1998年、教育相兼教会相、2001年デンマーク議会選挙当選。2011年～2014年経済・内務大臣、副首相。2014年以降 EU 競争担当上級代表

欧州理事会議長（EU 大統領）

シャルル・イヴ・ジャン・ギスレーヌ・ミシェル（シャルル・ミシェル）43歳 Charles Michel ベルギー出身 男性

ベルギー首相（2014年～）

所属政党：改革運動(MR：Mouvement Réformateur、フランス語圏のワロン地域を基盤とする自由主義政党)党首、蘭ルッテ首相のVVDなどと欧州自由民主改革党(ELDR)を組織。欧州議会ではALDE所属。

1994年、18歳のとき、ブラバン・ワロン州議会選挙で当選し州議会議員。大学卒業翌年に連邦議会選挙に当選、25歳の時にはベルギー史上最年少の大臣(ワロン地域の内務大臣)となった。その後、ワーヴル市議会議員・同市長。2007年国政に復帰。開発協力大臣。2011年より改革運動党首。2014年の連邦議会選挙で、中道右派の連立政権となり、首相就任。

欧州連合(EU)外交安全保障上級代表

ジョセップ・ボレル・フォンテジェス Josep Borrell Fontelles 72歳 スペイン出身 男性

所属政党：スペイン社会労働党(PSOE)、S&Dグループ

1979年マドリード議会議員、1982年に社会労働党ゴンサーレス政権で、財政政策を担当。2004年欧州議会選挙で社会党系のリーダーとして当選。2004年～2007年まで欧州議会議長。

欧州議会議長

順当にいけば、欧州議会内の第1党であるEPPグループから選出されるのですが、上記主要役職が、ドイツ、フランス、スペイン、ベルギーと西側諸国ばかりになったので、欧州議会議長は東欧から選出されるとさらにバランスが取れるとトウスク EU 大統領はコメントしています。

一方、ストラスブールの欧州議会では、3日からEU要職の承認投票が始まります。緑の党グループは、すでにこのパッケージには反対しています。社会党グループも要職が得られず、がっかりしています。社会党グループが賛成するかどうか微妙な雲行きです。

(南ドイツ新聞 2019/7/2より)

候補者

セルゲイ・スタニシェフ Сергей Станишев 53歳 ウクライナ出身のブルガリアの政治家 男性

所属政党：ブルガリア社会党 2002年より欧州社会党最高会議幹部

モスクワ国立総合大学卒。歴史学博士号取得。ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスの学位も取得。外交・国際問題の専門家。

2001年から国会当選、ブルガリア社会党最高会議議長に選出。2005年～2009年ブルガリア首相。

母国語以外に英語、ロシア語、フランス語、ポーランド語に堪能。

マンフレート・ヴェーバー Manfred Weber 46歳 ドイツ・バイエルン州出身 男性

所属政党：キリスト教社会同盟(CDU) EPPグループ代表

2002年バイエルン州議会議員、2004年から欧州議会議員。2019年5月の欧州議会選挙では、中道右派系(EPP)グループの代表。

EU 人事、仏独主導の危うい合意 委員長承認で波乱も

欧州連合（EU）首脳が今秋に任期を迎える EU のトップ人事で合意にこぎ着けた。候補者の名が浮かんで消えた 3 日間のマラソン会議。仏独という大国主導の人選に小国や欧州議会が反発し、議論は紛糾した。EU 執行機関トップの欧州委員長を承認する議会には反対論が根強く、EU 人事はなお波乱含みだ。

「前回は 3 カ月かかったが今回は 3 日で人事ができた」。2 日夜（日本時間 3 日未明）、首脳会議閉幕後の記者会見でトスク EU 大統領は 5 年前の人事と比べて語った。表情には 3 日間にわたった会議の疲れがにじんでいた。マクロン仏大統領は「能力、経験、バランスの面で言うことはない陣容だ」と称賛した。

人選は難航を極めた。6 月 30 日夜に始まった会議は夜を徹した議論を続けたにもかかわらず 7 月 1 日正午過ぎに中断。2 日午前 11 時の再開が決まった。ところが同時刻になってもトスク氏は首脳との個別協議を続け、全体会合は始まらない。トスク氏の報道官がツイッターで 3 度にわたって時間変更を伝えた後、午後 4 時すぎにようやく始まった。

5 月下旬の欧州議会選で第 1 会派になったのは欧州人民党（EPP、中道右派）だった。議会の「筆頭候補」制度に従えば EPP が推すウェーバー欧州議員（独出身）が委員長になる。ところがマクロン氏が政治経験の乏しさなどから強硬に反対し、ウェーバー案は早々とついでた。

6 月 28～29 日の 20 カ国・地域首脳会議（G20 大阪サミット）。会議の合間を縫って欧州からの参加者は調整を続けた。顔ぶれはトスク氏に加え、仏独スペイン、オランダの首脳。「この案でいこう」。議会第 2 会派の欧州社会・進歩連盟（S&D、中道左派）が推すティメルマンス欧州委員会第 1 副委員長を委員長に据えるなどの内容だ。

30 日夜、大阪からブリュッセルに舞い戻った首脳には逆風が吹いていた。ティメルマンス氏の委員長就任を「絶対に受け入れられない」（チェコのバビシュ首相）「強行すれば将来の EU の団結が傷つく」（ポーランドのモラウィエツキ首相）。「法の支配」を担当するティメルマンス氏は政権の強権ぶりが目立つ東欧諸国を批判してきた。

東欧諸国以外にも、仏独が少数国で固めた人事案に「事前に決められた内容には同意できない」（イタリアのコンテ首相）との声は根強かった。

最大の誤算が欧州議会の反発だ。EPP は「第 1 会派を軽んじて第 2 会派の候補を委員長にするのはおかしい」と批判。欧州委員長は各国首脳が指名し、議会が承認する。第 1 会派の同意なしには承認は見通せない。トスク氏は 1 日、ティメルマンス案を断念した。

会議 3 日目となった 2 日。委員長にフォンデアライエン独国防相の名前が急浮上する。これまで EU 機関のトップ候補に挙がっていたものの、EU の外相にあたる外交安全保障上級代表との見方が多かった。

「フォンデアライエン氏はどうか」。欧州メディアによると、マクロン氏はメルケル独首相に欧州中央銀行（ECB）総裁に仏出身のラガルド国際通貨基金（IMF）専務理事をあてるのと引き換えに提案した。当初マクロン氏はこの会議では ECB 人事は決まらなと話していたが、独出身者が委員長に就くならば仏も重要ポストをとらねばならないと考えた。

マクロン氏らは、フォンデアライエン氏は EPP 所属の女性で議会が承認しやすいと考えていたようだ。だがことはそう簡単ではない。「議会軽視だ」。2 日召集された欧州議会ではどの会派も同氏を委員長に推してなかったにもかかわらず、首脳が指名したことに非難が相次いだ。

S&D のガルシアペレス党首は 2 日の声明で「非常に失望した」と表明。強権政治を進める東欧諸国の同意を得るためにティメルマンス氏を排除したことを批判した。環境会派「緑の党・欧州自由連合」のケラー党首は「密室での決定は異様だ」と人事案を拒否する考えを示した。

欧州議会は 7 月半ばにもフォンデアライエン氏の委員長承認を採決する。トスク氏は「これから各国の首脳が議会関係者を説得する」と、議会との調整が済んでいないことをにじませた。

議会は定数 751。委員長の承認には有効投票数の過半数が必要だ。親 EU 派に位置づけられる S&D と緑の党が仮に反対に回れば、EPP とマクロン氏らの中道リベラル会派は計 290 議席にとどまる。マクロン氏は「ほとんど全会一致だった」と語っており、議会の穏健な EU 懐疑派の一部が賛成に回る可能性はあるものの、不透明さはぬぐいきれない。

（日本経済新聞 2019/7/3 より）